

日勝峠 1年2か月ぶりの通行再開



通行止め解除を待つ車両の列

10月28日13時 全区間の通行止め解除

観測史上最大の連続雨量488ミリを記録した昨年8月の台風10号の影響により落橋や道路崩壊など、大規模に被災し通行止めとなっていた国道274号日勝峠が、10月28日13時に通行止めが解除され、約1年2か月ぶりの通行再開となりました。

日勝峠再開を前に、千栄の通行止めゲートにはこの日を待ちわびた100台以上の乗用車やトラックが連なり、北海道開発局や復旧工事関係者など、約60名が見送るなか、通行止め解除とともに道東方面へ出発しました。

復旧工事には新たな防災対策も

災害復旧費227億円、作業員延べ9万6千人が動員された復旧工事では、今回と同規模の雨量や河川流量を想定し、新たな盛土や擁壁の造成、橋の設置がされ、峠の気象観測装置を3基から4基に増設したほか、土砂災害が激しかった箇所にはカメラを新設し、管理体制を強化するなど、新たな防災対策を取り入れた復旧工事となりました。



復旧工事の概要を説明する北海道開発局職員

再開通記念式典を開催

通行止め解除の同日、道の駅樹海ロード日高では「国道274号日勝



感謝状を贈呈する三輪町長

峠再開通記念式典」が行われ、国會議員、北海道議會議員、北海道開発局、日高町議會議員、工事関係者、地元住民など、約100人が出席しました。
式典で三輪町長は「災害直後の状況から、工事が完了するまでに3年はかかると思っていました。わずか14か月という驚異的な早さで開通を果たすことができ、大変うれしく思っています。災害復旧工事にあたり、多大なご協力をいただいた地権者の皆さま、地域の皆さま、昼夜を徹してご尽力いただいた工事関係者の皆さまに心から感謝申し上げます。」と辞を述べ、国道274号日勝峠災害復旧関連工事推進協議会の松隈嘉和会長へ感謝状を贈呈しまし

復旧現場

視察バスツアー

また、同日午後から、日勝峠復旧現場を視察するバスツアーが行われ、約60名の参加者は崖崩れや土石流が発生した場所の修復された様子をバスの車内から見学しました。参加者は「国道の被害の大きさにびっくりした。」「また車が行き交うようになってうれしい。」と話されていました。



復旧現場を視察するバスツアー

清水町からも歓迎

バスツアーで訪問した清水町側の通行止めゲート近くのレストラン「十勝亭」では、阿部一男清水町長、加来清水町議会議長らに出迎えられ、バスツアー参加者を歓迎していただきました。

歓迎会で阿部清水町長は「開通をきっかけに両町が復興ができた。関係者の皆さんのいろいろな努力を本当にありがたく思っています。」と挨拶され、日高町、清水町の両町長と議会議長が堅く握手を交わしました。



握手を交わす(左から)阿部清水町長、三輪日高町長、加来清水町議会議長、神保日高町議会議長



清水町による歓迎会の様子



バスツアー参加者を歓迎する清水町

交通安全街頭啓発運動

道の駅樹海ロード日高前の国道274号の沿道では、日勝峠に向かうドライバーへ交通安全街頭啓発運動が行われました。



交通安全街頭啓発運動

国道274日勝峠災害復旧関連工事推進協議会 加盟業者一覧（順不同・敬称略）

- ・ 北興工業(株)
- ・ (株)小金澤組
- ・ (株)出口組
- ・ 緑豊建設(株)
- ・ 岩倉建設(株)
- ・ (株)丸博野沢組
- ・ (株)磯田組
- ・ 道路工業(株)
- ・ 不二建設(株)
- ・ 幌村建設(株)
- ・ 日本高圧コンクリート(株)
- ・ (株)小林組
- ・ ドーピー建設工業(株)
- ・ 大基建設(株)
- ・ 勝幸辰建設(株)
- ・ 大同舗道(株)
- ・ 岩田地崎建設(株)
- ・ 末廣屋電機(株)
- ・ 中山・笹田経常JV
- ・ 三共電気工業(株)
- ・ 北海土建工業(株)
- ・ 北海電気工事(株)
- ・ (株)手塚組
- ・ (株)日立製作所北海道支社
- ・ 菱中建設(株)